子どもと節用集

佐藤 貴 裕

はじめに

案本助『江戸風俗談録』『天保頃成立』に次のような記述がある。句詠を改め、箂抜気を施して示す。

五六人も集っているく、眠りする数々に、大人声短くして物言わしながらかねる者ありしを、傍より遣は縁
者ゆへ、と申やう。いなかに其許はるれも睡なれ縁に、口を利きたる者が甚だ聞きにくる。自分と人並
みにありざるを証で引向け居らば。彼等易は心に笑ふといい共、我等は其許と従弟達のよしみをもって、為
の前に置て立帰り。跡にこれを開けれども、無筆は文の男ならばよろず。

秋に、其文に先づて波川御見に候へども、拝者事は生ね付の事ならば、覓を加へて仕方是なく候。即ち
なさる。事、夫其元の病なり。おしへて遠べとし、呉縁が分らぬしと申さるべく候。其外聞苦しき気の
毒なる事度くに候へば、まづ節用にても御せめり。早く御覧治然くべく候との書付ければ、其座にて
面をうなひしとや。

三田村倉魚教『未刊随筆百種』第七巻、中央公論社　九七七
子どもと節用集

呂律の囲われた男の反撃は三段構えである。まずは、書き上げという手を相手の無理文言を暴発し、ついでにこっ

節用集は呂律の不適切な表現に対応するためのものだ。呂律の囲われた男の反撃は、まず書き上げという手を相手の無理文

この話題になるのは、『節用集』に『呂律』をどう扱うかの問題である。呂律の囲われた男の反撃は、まず書き

『節用集』には、節用集を扱っている。呂律の囲われた男の反撃は、まず書き上げという手を相手の無理文

これでは、節用集を扱っている。呂律の囲われた男の反撃は、まず書き上げという手を相手の無理文

節用集を扱っている。呂律の囲われた男の反撃は、まず書き上げという手を相手の無理文

節用集を扱っている。呂律の囲われた男の反撃は、まず書き上げという手を相手の無理文

節用集を扱っている。呂律の囲われた男の反撃は、まず書き上げという手を相手の無理文
子どもと節用集

右の例は、早期教育として学習に直結するが、中田玉頭・難着口やにみえる例は、学習をそれらとする。

笑顔は、天明三年に、編集集を枕にしようという内外非者の中に承認され、総合的な利用である。

小児の成長を、子どもたちと目を合わせて目を合わせ、色も紙の色を紙を切れて、ベースを切る。

心と体のつながりが、中心に成長、正月吉日、正月吉日、正月吉日。

（略、右の書入れを共通する等は、どれも幼稚園の書き方で、本体の不必要がある例に対して、鶴沼文蔵『節用節用万世神事』に分析があるので引用する。

右の「音」とは、音を直接に描くのが数多い。大人には間違いがある。草双

を塩引、牛頭馬筋で紙が見えないほどに消えるのが、子供心が現れやすい。これについて、「音」と是するが、音を画を描く。

新町、渡部幾松持

1. 享和三天

出羽由利郡生口□

□歳

正月吉日

（略、右の書入れを共通する等は、どれも幼稚園の書き方で、本体の不必要がある例に対して、鶴沼文蔵『節用節用万世神事』の引用があるので引用する。

ロゾ、表里の匡郭の外に、右から左へ次のように記す。

石原司郎『近世国語の書』（通海節用集）に分析があるので引用する。

1. 享和三天

出羽由利郡生口□

□歳

正月吉日

（略、右の書入れを共通する等は、どれも幼稚園の書き方で、本体の不必要がある例に対して、鶴沼文蔵『節用節用万世神事』に分析があるので引用する。

ロゾ、表里の匡郭の外に、右から左へ次のように記す。

石原司郎『近世国語の書』（通海節用集）に分析があるので引用する。

1. 享和三天

出羽由利郡生口□

□歳

正月吉日

（略、右の書入れを共通する等は、どれも幼稚園の書き方で、本体の不必要がある例に対して、鶴沼文蔵『節用節用万世神事』に分析があるので引用する。

ロゾ、表里の匡郭の外に、右から左へ次のように記す。

石原司郎『近世国語の書』（通海節用集）に分析があるので引用する。

1. 享和三天

出羽由利郡生口□

□歳

正月吉日

（略、右の書入れを共通する等は、どれも幼稚園の書き方で、本体の不必要がある例に対して、鶴沼文蔵『節用節用万世神事』に分析があるで
子どもの節用集

「子ども節用集」のための提案

1. 形式を支える無用句
2. 現実の文書では、仮名と月見ひらひら
3. 表紙の度数
4. 像・実字の体裁

図の説明

図の説明

図の説明

図の説明

図の説明

図の説明

図の説明
子どもと節用集

ただ、一方向で、子どもが節用集で学習した例がないわけではない。節用集は、文書の形式は、出前折りの本とし、筆画のなさのため、子どもたちの自由に読むことができる。また、節用集の項目は、単語から複数の単語まで、さまざまなレベルのものがある。

三学習具としての節用集

節用集を用いては、名実両面、節用集の構造を理解する。節用集の構造は、単語から複数の単語まで、さまざまなレベルのものがある。また、節用集は、文書の形式は、出前折りの本とし、筆画のなさのため、子どもたちの自由に読むことができる。

節用集は、文書の形式は、出前折りの本とし、筆画のなさのため、子どもたちの自由に読むことができる。また、節用集の項目は、単語から複数の単語まで、さまざまなレベルのものがある。
家庭環境と子どもの節用集

四

一・五歳児が節用集を所持していた事例を見てみよう。近世の一・五歳児のの人間を子どもとみなすのは妥当ではないと考えられる。その点については次節で触れることとし、ここでは子どもの最低年齢を捉え、彼女が、どのような家庭環境にあり、どのような経緯で節用集を所持するかを示した。

前節、幼乳期、幼児期、学習期に視点をもって日本史の文献を検討したが、次に高井浩三・塚本常雄の節用集を例に論ずることにする。

四・元次郎、節用集、墨等は十一月の舟便に二月具に送迎すような、節用集で学んだものでないわけではない。一方で、節用集を所持したことは、親が子どもに教えることを示すものであり、教養の質的ものであることが示される。「節用集は、学びを教える道具であり、子どもはそれを通じて学びを授かることができる。」

天保二四年三月十日元次郎、札幌御田家に書簡

天保四年三月十日元次郎、札幌御田家に書簡
中心線が左かたむく部分があるが、まずは安定した筆跡である。内容も興味深く、「求めることがあるように、相手からのお手伝いでは、新たに購入したのである。又黒の署名は、従号雅号と見えるので、仮署名をたしなんでいたのだろう。すると、節用集語・表記の知るの役立つだろう。よって、節用集の内容は、不明であるが、一定の範囲をもって、四歳の子ども。おそらく、又黒の、十分に手数費を必要とするのだろう。一歳近くの黒の署名は、一般的に数えたところの図を一歳までは子供であった。成武は若者組の加入という形をとることが多い、また布の体験が少ない、体が小さく、体力がなくなく、

このように、大人の役割を果たすための筆跡がある。当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。また、これより五歳高い四歳にし、大人にとっての責任を負うのが、当時の五歳であった。
このページは、日本の古代の文献から成り立っています。文脈から判断して、この文書は、節用集についての研究を示しているようですね。特に、節用集の構成や、その成書についての考察が示されています。この文書は、日本の歴史や文化を知るうえで重要な文献の1つであることが伺えます。
子どもと節用集

では早計である。が、所持した節用集が明らかならば、使用者との関係を見るのほどひとつの例として、つまりは、今後生かせ注目点として示していただきたい。この節用集の存在も気になる。しかし、この種の多くは、依頼ないもしろに論を分類するので検索法が低く、辞書義のようには整然型整然と見えた方がよい。したがって、当面は視野に入らないがよいと思う。ただ、それを節用集のなかに含めるなら、検索法の単純化自体、節用集の関係の薄さを証するものと捉えることになる。当面子どもは、節用集の関係の薄さは考えない。もちろん、真に「薄発のため」の配慮があるかどうかを聞く必要があるから、いまは、このような節用集の関係の薄さは考えない。と答えた。検討し、一定の成果を出してから突き合わせても十分に間に合うように思う。これでは、子ども用と録打た

節用集大行のため、計算であり、子どもにはふさわしくない。との原則は、今後、多くの使用例に触れるに

ここで、冒頭に言及した、無難のものに節用集をすすめる例はどう解したらよいか、

また、本稿を紹介したなかったが、無節用例集を挙げた例があった。その例を見ると、聞き方を知ることで、節用集を構成しているものと

読者を手のひらに乗せることは、相手の、大行のようには見つけにくいものではない。しかし、子どもとしてのプライドだけは尊重し

と説けるかどうかを思うのである。ただ、深読みすれば、そのように仕返しの手をぬるめたのは、節用集の一種である可能性もないではない。ともあれ、今後も、使用例に取集に心をくだくばかりである。
子どもの節用集

参考注記

12

時代遅れのもので、印刷の速さよりも明らかに鮮やくで時間であることが知られ

13

時代遅れのもので、印刷の速さよりも明らかに鮮やくで時間であることが知られる。おそらく、「スキニ」の例も

14

時代遅れのもので、印刷の速さよりも明らかに鮮やくで時間であることが知られる。おそらく、「スキニ」の例も

15

時代遅れのもので、印刷の速さよりも明らかに鮮やくで時間であることが知られる。おそらく、「スキニ」の例も